

1. 科目名 (単位数)	教職実践演習 (小学校) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE4391 SJTC4576
2. 授業担当教員	伊藤 宗彦		
4. 授業形態	講義、演習、実習等を適宜利用する	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教職に関する単位を取得してから履修することが望ましい。 該当する教員免許状の希望者を受講対象者として、履修カルテを使用した授業を実施することから、履修できる学生は、小学校教諭の資格課程登録者のみとする。		
7. 講義概要	教職実践演習 (小学校) は、本学の教員養成に必要な「理論と実践」の融合を目指す科目として設定されている。これまでの学習を通じて身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、最終的に確認する科目である。 この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようにすることを期待して実施される科目である。		
8. 学習目標	教員として求められる資質・能力の形成に関して、以下の目標を設定し、達成することができる。 ① 職務遂行に必要な使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項を再確認する。 ② 社会性や対人関係能力に関する事項の発揮に関しての再確認をする。 ③ 実習等で得られた幼児・児童・生徒理解の仕方や学級経営の在り方等に関する事項の再確認をする。 ④ 教科・領域等教育課程の実施に当たっての指導力・実践力に関する事項の再確認をする。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	課題1: 学級経営案を作成し提出する。 課題2: 学級通信を作成し提出する。 課題3: 保護者が、自分の子どもがクラスでいじめられていると訴えてきたときの対応について、自分の考えを1,000字以内で記述せよ。 *教育実習等で授業に出席できないことがある場合でも課題は全員が提出する		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】梅澤 実編著『改訂版 教職実践演習 これまでの学びと教師への歩み 一小学校 幼稚園編』わかば社、2019。 【参考書】文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社、2018。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 学習目標の実現度において評価する。 ○評定の方法 日々の授業態度、参加度 30% レポート課題 40% 日常の学習状況 30%		
12. 受講生へのメッセージ	○受講生に期待すること 1. 授業中は真剣に取り組む、分からないところは質問すること。 2. 授業中は、他人に迷惑をかけないよう、私語・携帯電話・居眠り・飲食を禁止する。 3. 予習・復習を十分に行い、学習内容を確実に習得すること。 4. レポートや副教材のプリント等は各自整理整頓に努めること。 5. 欠席・遅刻・早退をしないこと。 6. アサシメント及びレポート課題の提出期限を必ず守ること (遅れた場合は減点)。		
13. オフィスアワー	第1回目の時に知らせる。事前にメールで連絡することが望ましい。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバス、授業の受け方についての説明。 教育実習や指導法の授業を受けてきて、教師になったときの不安について発表する。 教師に求められる資質・能力についても取り上げる。	事前学習	教師になったときの不安について自分の考えを持っておく。教科書の第1章「教師への歩みと足跡 (pp. 7-16)」を読んでおくこと。
		事後学習	教師に求められる資質・能力について振り返る。
第2回	新学期を迎え、クラスの座席・係・当番等の決定について留意することを学習する。	事前学習	座席・係・当番等どのように決めるか自分の考えを持っておく。
		事後学習	教室環境を考えた学級経営案を考えておく。
第3回	学級経営案の書き方を学習する。 各自の学級経営案をグループで討論し、発表する。	事前学習	学級経営案を作成する。
		事後学習	学級経営案を修正しておく。
第4回	子どもの理解の方法について学習する。 (課題1提出)	事前学習	教科書の第2章「子ども理解の方法と実際 (pp. 17-28)」を読んでおくこと。
		事後学習	子どもの理解の方法について自分の考えをまとめておく。
第5回	学校教育におけるカリキュラムについて学習する。	事前学習	教科書の第3章「カリキュラムを考える (pp. 29-38)」を読んでおくこと。
		事後学習	学校教育におけるカリキュラムについて自分の考えをまとめておく。
第6回	学級づくりの方法と実際について学習する。	事前学習	教科書の第4章「学級づくりの方法と実際 (pp. 39-52)」を読んでおくこと。
		事後学習	学級通信を作成する。
第7回	問題行動の理解と対応について学習する。 (課題2提出)	事前学習	教科書の第5章「問題行動の理解と対応 (pp. 53-64)」を読んでおくこと。

		事後学習	問題行動の理解と対応について自分の考えをまとめておく。
第8回	授業技術について学習する。	事前学習	教科書の第7章「授業技術を身につける (pp. 77-88)」を読んでおくこと。
		事後学習	授業技術について自分の考えをまとめておく。
第9回	授業の評価方法について学習する。 (課題3提出)	事前学習	教科書の第8章「授業で使う評価方法 (pp. 89-100)」を読んでおくこと。
		事後学習	評価方法について自分の考えをまとめておく。
第10回	教師と保護者、地域との協働・連携について学習する。	事前学習	教科書の第9章「教師と保護者および地域との協働・連携 (pp. 101-122)」を読んでおくこと。
		事後学習	教師と保護者および地域との協働・連携について、自分の考えをまとめておく。
第11回	教師のライフスタイルについて学習する。	事前学習	教科書の第11章「教師のライフスタイル (pp. 133-141)」を読んでおくこと。
		事後学習	教師のライフスタイルについて、自分の考えをまとめておく。
第12回	第1回模擬授業を行う (室内でできるレクリエーション)。	事前学習	グループで模擬授業の準備をしておく。
		事後学習	模擬授業の振り返りを行う。
第13回	第2回模擬授業を行う (室内でできるレクリエーション)。	事前学習	グループで模擬授業の準備をしておく。
		事後学習	模擬授業の振り返りを行う。
第14回	クラスに「気になる児童」がいるときの対応について学習する。グループで討論し発表する。	事前学習	多様な児童への対応について自分の考えを持っておく。
		事後学習	「気になる児童」への対応について、自分の考えをまとめておく。
第15回	事例研究 (わがままで教師の言うことを聞かない児童の対応)を通して、グループで討論し発表をする。	事前学習	個々の児童の対応について考えておく。
		事後学習	個に応じた指導の在り方について、自分の考えをまとめておく。